

なぜか捨てられない様々な紙への、乾いたユーモアと柔らかな愛。
現代エッセイの名手、スズキナオによる集大成の一冊！

捨てた紙、捨てられない紙

著：スズキナオ

「なんでこんなものまで取ってあるんだよ！」と、過去の自分に対して腹が立つほど、各時代の自分が捨てられずに残してきた紙たちが部屋のあちこちから現れる。なんで捨てられないのだろう……膨大な量の紙を見つめて、改めてそれら一枚一枚に対する思い入れを文字にしてみようと思った——（あとがき「捨てた紙」より）

誰もが家のどこかにある“捨てられない紙”。そこに浮かび上がるのは、ささやかな日々の記録、今はもうない店や場所、家族や友人との時間……それらを乾いたユーモアと柔らかな愛をたたえた視点で炙り出す珠玉のエッセイ。なんでもないような日常や、旅、酒、店、音楽、そしてあまり語られなかった幼少期や学生時代のこと……。

著者：スズキナオ

1979年東京生まれ、大阪在住のフリーライター。著書に『深夜高速バスに100回ぐらに乗ってわかったこと 新增補版』『新幹線から見えたすき家へカレーを食べに行く』（以上太田出版）、『酒ともやしと横になる私』（シカク出版）、『「それから」の大阪』（集英社新書）、『思い出せない思い出たちが僕らを家族にしてくれる』（新潮社）、など多数。



ご注文は銚谷（クワタニ）書店へ

FAX 03-5390-2213

書店のみなさまへ。条件：委託（随時返品可能）。銚谷書店経由ですべての帳合の書店様に納品いたします。返本は各取次店から銚谷書店経由で弊社へ戻ります。自動配本はありません。

書店様番線印	ご注文数	ご注文日	捨てた紙、捨てられない紙 スズキナオ
ご担当者名（ ）	冊		

和久田書房（わくだしょぼう） 和久田善彦

〒655-0872 神戸市垂水区塩屋町3-1-3 info@wakudashobo.com wakudashobo.com